

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.26 イワタバコ観察会

H27年8月9日



夏真っ盛りの中、7名でイワタバコを観察してきました。ケーブル坂本駅に集合し、一気に比叡山頂の延暦寺駅まで登ります。

駅を降りると、下よりも幾分涼しく感じました。5から6度涼しいとケーブルのパンフレットにはあります。駅を降りた乗客の大半は景色を楽しんだ後、右(根本中堂)方面に進まれますが、私たちは左(無動寺谷)方面に進みました。

この谷には、モミの木やイヌブナが自生していて、比叡山の自然がかなり残されている実に貴重な場所です。その自然を観察しながら、谷へ下りていきました(写真左)。

- ①モミの木に多くの植物が着生している
- ②クサアジサイの花が咲いている
- ③ツクバネの木を確認する。
- ④アカガシの木も確認する。
- ⑤無動寺に近づくに従い、イワタバコも見られるようになる。



夏は、花が少なくなる季節ではありますが、この時期にしか見られない花もあります。その一つが、写真左のクサアジサイです。湿った斜面に咲く花ですが、普通アジサイは6月が花の時期です。また、アジサイは木の仲間ですが、クサアジサイは草です。草丈は30~60cmと小さな印象を受けます。花びらのように見えるものは装飾花とよばれ、ガクが変化したものです。本当の花は雄しべがたくさんある方です。注意して参道を歩くと、あちこちに見受けられます。

ツクバネやアカガシも珍しい木なのですが、本命のイワタバコに向かって歩を進めます。イワタバコの群生地、その面積では多分県内随一であろう 弁天堂です。お寺の境内と言うこともあり、保全されてきたのだらうと思います。まさに満開のイワタバコが我々を出迎えてくれました。



満開のイワタバコ



イワタバコは、岩にしがみつくように育っていました。湿った岩肌に一面に生えています。タバコの葉に似ているのが名前の由来だそうです、この花の形は不思議ですね、まさに紫色の星★を見ているようです。

満開のイワタバコが疲れた体を癒してくれます。紫色の花姿はとても涼やかな印象を受けます。こうした身近な場所の自然にも気づくことで守りたいです。

帰りに、苔の観察をして帰途につきました。ホンモンジゴケです。きめ細やかな濃い緑でまさにビロードの感触です。東京の池上、本門寺で発見されたことからこの名があるホンモンジゴケは、神社や寺院の銅葺きの下など銅成分を含む雨水が流れる場所に生える「銅苔」として知られています。植物にとって毒である金属と共生しているようなコケ。不思議な生態を垣間見ました。



今回は、比叡山の中を歩いて、植物を観察しました。夏でも見所がたくさんある比叡山の懐の深さに感銘を感じます。日吉大社周辺の植生を大事にすると共に、他のルートも歩いて色んな自然を感じたいと思った一日でした。

次回のイベントなど、詳しくは [日吉大社自然観察倶楽部HP](http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com)にて

<http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com>